

数学

京都大学 [文系] (前期)

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)
難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

独立小問がなくなった。誘導のための小問は**2**のみ。

その他トピックス

理系との共通はなし。**2**は理系**1**の類似問題。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	空間図形	数学B 数学I	対称性のある四面体の体積	やや難
2	確率	数学A	立方体の面の塗り分けの確率	標準
3	2次関数	数学I	絶対値記号を含む関数の最大値	やや難
4	n進法と桁数	数学A 数学II	八進法, 九進法, 十進法における桁数	難
5	積分法	数学II 数学I	2次方程式の解の範囲と, 領域の面積	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

繁雑な作業を効率的に行う力, 問題の構造を把握して方針を立てる力を養いたい。
誘導の小問を削って練習することや, 答案作成の練習のために添削指導を受けることも有効である。